

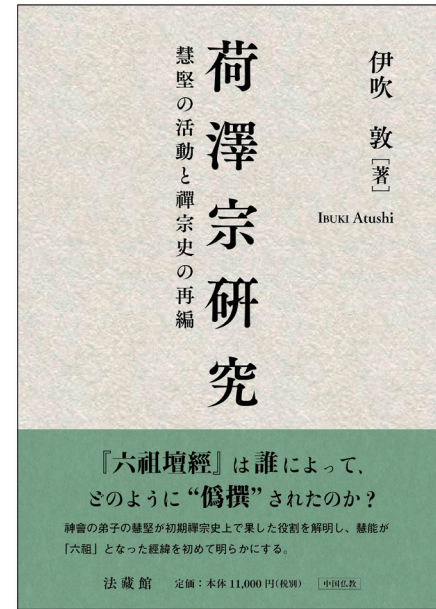
荷澤宗研究

慧堅の活動と
禪宗史の再編

伊吹敦 [著] (東洋大学名誉教授)

A5判・上製カバー・九二八頁・定価二二、一〇〇円

2026年3月刊行



道半ばで斃れた神會の遺志を引き継いで、慧堅と弟子たちが慧堅を「六祖」に位置づけるために行った『六祖壇經』や『金剛經解義』の偽撰等の活動の全貌を文献学的に解明し、初期禪宗史研究を新たな段階へと導く画期的研究。

序

第Ⅰ部 荷澤宗の活動と反響

第一章 荷澤宗としての

神照・宗密の正統性

第二章 荷澤宗研究のための基礎資料

第三章 荷澤宗の人々の生涯と活動

第Ⅱ部 敦煌本『六祖壇經』の

創成と増廣

第四章 荷澤宗慧堅派による

敦煌本『六祖壇經』の創成

第五章 敦煌本『六祖壇經』の

成立に關する二三の問題

第六章 敦煌本『六祖壇經』の成長

第Ⅲ部 新たな慧能・神會の

著作の創成

第七章 『金剛經解義』の偽撰

第八章 『雜徵義』の展開としての

『頓悟入道要門論』

第Ⅳ部 西天・東土の祖統の整備

第九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代相承傳法記』

第十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第Ⅴ部 荷澤宗の慧能から

洪州宗の慧能へ

第十一章 慧能Ⅱ玄策系による慧能傳の

編輯——『曹溪大師傳』

第十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

——李舟編『能大師傳』

第Ⅵ部 思想と文獻から見た

荷澤宗から洪州宗への推移

第十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

結 論

文獻名略稱一覽／參考文獻一覽
初出一覽／索引

英文要旨／英文目次

【著者略歴】1959年生まれ、愛知縣出身。早稻田大學大学院文學研究科博士後期課程單位取得退學。東洋大學專任講師、助教授、教授をへて、現在、東洋大學名誉教授。専門は中國佛教史・禪宗史。著書に、『禪の歴史』（法藏館、2001年）、『中國禪思想史』（禪文化研究所、2021年）、『荷澤神會研究——神會の生涯・著作・思想とその史的意義』（法藏館、2025年）、譯書に、『中國禪宗史——禪思想の誕生』（印順著、山喜房佛書林、1997年）などがある。

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

中国仏教

注文書

(書店名)

ご担当

様 冊

法藏館

二、一〇〇円

伊吹敦著

荷澤宗研究

慧堅の活動と禪宗史の再編

ISBN978-4-8318-5747-7 C3015

ご住所

お電話

お名前